

# 学校通信『自分に自信と夢を』 第80号 文責 古澤

## 修学旅行を通して学んだ「平和」と「絆」 【後編】

### フィールドワーク ～ナガサキに学ぶ～

長崎原爆資料館内の見学後、12班に分かれてボランティアガイドの方々の案内でフィールドワークをしました。私は7班の皆さんと一緒に被爆地を見学しました。子どもたちは、ボランティアガイドの説明に集中し、大切なことをメモしていました。また、積極的に質問したり、班で協力しあったりする姿も見ることができました。今回の修学旅行で初めて聞く説明もありました。



【スタート式】



【平和の母子像】



【平和を祈る子の像】



【緑橋】



【被爆当時の地層】



【原爆落下中心地】



【防空壕跡】



【平和の泉】



【浦上刑務支所跡】



【長崎の鐘】



【平和祈念像】



【浦上天主堂】



【サントス通り】



【如己堂】



【山里小学校】

### 平和学習（講話）

井野陽生さんの「始めの言葉」により講話が始まり、講話の後、上田柚季さんと坂本絢音さんが質問・感想の進行を務めました。最後に、お礼の言葉を角田楓季さんが代表して述べ、山邊泰偲さんの言葉でお礼のあいさつを全員でしました。語り部の今道さんからは、8歳の時の被爆体験とその後の人生について、とても分かりやすく講話をしていただきました。最後に「平和のために、一人一人ができることを探してください」子どもたちの質問に対して「一つの国を恨むのではなく、私は戦争を恨みます」と返されました。6年生は講話を忘れず、今道さんの体験を次の世代へ伝えていかなければならないと思います。

### 絆を深めたハウステンボス

2日目は佐世保市に移動し、和泉屋岡町店で土産を購入後、ハウステンボスに到着しました。最初にオランダの風車をバックに学級の集合写真を笑顔で撮影し、各学級とも班別にスタートして行きました。子どもたちはパンフレットの地図を見ながら、「生活数理」で計画していたアトラクションや昼食を楽しみ、友だちとの絆を深めていました。ここでも、班員で協力して助け合う様子や昼食を友だちと仲良く食べている様子を何度も見ることができました。



今回の修学旅行は、感染症予防対策に向けての保護者説明会や、旅行業者との例年以上の情報交換を行いました。保護者の方々をはじめ、多くの方々の御理解と御協力並びに御支援で所期の目的を達成し、6年生にとって思い出に残る最高の修学旅行ができましたことに感謝いたします。